

二〇二五年度 大学院入学試験問題【Ⅰ期】

文学研究科 日本文学専攻(博士前期課程)

科目: 論文: 専門科目 (辞書使用: 不可)

【問題Ⅰ】 次のの中から自分に該当するものを選んで述べよ。

- (一) 私の卒業論文の構想 [日本文学専攻の学部在学学生]
 (二) 私の卒業論文の意図と概要 [日本文学専攻の卒業生]
 (三) 大学院博士前期課程における研究の構想 [卒業論文のテーマが日本語日本文学以外の受験生]

【問題Ⅱ】 次のの中から自分の志望する時代・分野の問題を選んで答えよ。(異なる時代・分野の問題から一つずつ選ぶことはできない)

《日本古代文学Ⅰ》

- (一) 萬葉集の歌の本文と訓の位置関係について、写本の伝来と関連付けて説明せよ。
 (二) 中国における七夕伝説の古代日本における受容について説明せよ。

《日本古代文学Ⅱ》

- (一) 「源氏物語と四季」「平安文学における季子譚」「枕草子と和歌」「日記文学と女房」の中から二題選び説明せよ。
 (二) 次の歌について答えよ。

この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

『古今和歌集』・冬・三三三・紀貫之

問一 右の歌に特徴的な表現について答えよ。

問二 右の歌を現代語訳せよ。

《日本中世文学》

- (一) 『保元物語』『平治物語』『平家物語』の文学史的評価について、考えるところを述べよ。
 (二) 次の文は『春日権現験記絵』の一節である。これを読んで次の問に答えよ。

この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

- (注) 「知足院の関白殿」は、藤原忠実(一〇七八―一一六二)。
 「堀川の左大臣」は、源俊房(一〇三五一―一一二二)。
 「北方」は、後醍醐天皇。
 「左府」は、堀川の左大臣のこと。

問一 傍線部を現代語訳せよ。

問二 春日大明神など、中世の神をめぐって生み出された文学について、その特徴を述べよ。

《日本近世文学》

- (一) 八文字屋本と江島其碩の関係について、文学史的意義に留意しつつ、説明しなさい。
 (二) 『心学早染草』について、作者名を明記しつつ、知っているところを述べなさい。

二〇二五年度 大学院入学試験問題【I期】

文学研究科 日本文学専攻（博士前期課程）

科目：論文：専門科目（辞書使用：不可）

《日本近代文学Ⅰ》

- (一) 一九二〇年代から三〇年代の女性文学にはどのような特徴があったか、具体的な作家名や作品名をあげながら論述しなさい。
- (二) 雑誌『蘭語』と中野重治について論述しなさい。

《日本近代文学Ⅱ》

- (一) 近・現代詩における西洋哲学の受容について、具体的な作家・作品名をあげて論述せよ。
- (二) 伊東静雄の詩の作風や特徴について、詳しく論述せよ。

《日本近代文学Ⅲ》

- (一) 日本近代文学における写実主義とはどのようなものであったか、述べなさい。
- (二) フイクションの方法について、近代から現代においてどのようなフイクションの方法が試みられてきたか、特に重要だと考えられるところを説明しなさい。

《国語学》

- (一) 日本語辞書における近年の新しい用法について、知るところを述べよ。
- (二) 漢字が日本語に対して果たしてきた役割について、知るところを述べよ。

《選文学》

- (一) 次の詩は、蘇我が子の蘇我・蘇我の名づけについて説いた「名二子説」である。これを読んで次の問いに答えよ。（返り点・送り仮名を省いた箇所がある）

この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

《唐宋八大家讀本》による

注 輪・輻・蓋・軫——それぞれ、車輪・スポーク・車のかき屋根・車の後部の横木。
 軾——車の座席前にある、体を支えるための横木。
 輶——わだち。

問一 傍線部①を、書き下し文にし、口語訳せよ。

問二 傍線部A・Bを、すべて平仮名で書き下し文にせよ。

- (二) 『文選』と『玉台新詠』について、その特徴を比較しながら説明せよ。

《比較文学》

- (一) 教会結婚式、クリスマス祝賀などを取り上げて、日本におけるキリスト教の受容について論述しなさい。
- (二) 日本の代表的作家を一人選び、その文学における歴史観と社会観を述べなさい。

解答は、別紙の解答用紙に行なうこと。以下の余白に記してはならない